JAOS MUD GUARD 3 **Installation Instructions**

TOYOTA HILUX (17.10-)

このたびはJAOSマッドガードをお買い上げいただきまことにありがとうございます。 本書はマッドガードを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。 取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切保管してください。 >

取付参考時間 INSTALLATION TIME



約1.0時間

10-hours

① パーツ交換/取付

Easy

作業難度

② 車体加工あり

Moderately Easy

SKILL LEVEL

③ 専門知識が必要 Moderately Difficult

(3) 分解整備

Difficult

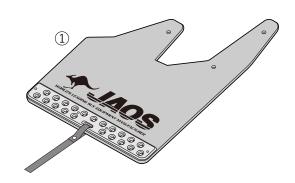
必要工具 鉛筆、下敷き、カッター、ハサミ、 テープ、スパナ(HEX.10,12)、

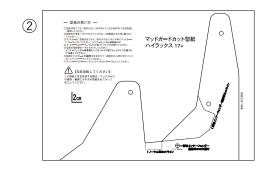
+ドライバー(#3)、ライター、

【弊社インナーフェンダー装着車のみ】 木エドリル(8.0mm)

クリップリムーバー

部品構成



















| 構成部品名称 DESCRIPTION | 数量 Q'TY | 構成部品名称 DESCRIPTION | 数量 Q'TY |
|---|---------|--|---------|
| ① マッドガード フロント 左右 MUD GUARD LH/RH | 各1 | ⑥ ワッシャーM6 PLAIN WASHER | 10 |
| ② 型紙 PAPER PATTERN | 1 | ⑦ ベルトアジャスター ADJUSTER | 2 |
| ③ タッピングスクリューM6-20 TAPPING SCREW | 6 | 8 ベルト吊りブラケット BELT BRACKET | 2 |
| ④ トラスボルトM6-20 cross recessed head screw | 4 | 変換ブラケット CONVERSION BRACKET | 2 |
| ⑤ フランジ付ナットM6 HEX.FLANGE NUT | 4 | | |

取り扱い上のご注意

= この取扱要領書で使用している表示の意味と内容 =

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を 示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する 内容を示しています。

ぬアドバス この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

取り付け作業を行うまえに

∖警告 ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。

注意 ●取付要領書を必ずお読みください。

安全に作業を行うために

- ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- ●作業に適した服装で作業を行ってください。

取り付けについて

警告 ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。

注意 ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項



警告 ●設計荷重の範囲内で使用してください。

- ●定期的な点検を行ってください。
- ●薬品などの付着に注意してください。
- ●路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

- **↑** 注意 ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
 - ●商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対しての回答内容は保証いたし かねますのでご了承ください。
 - ●商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。

タッアトバイス ●商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

●初期不良の保証…お届けから1週間以内

商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。

●製品保証…弊社オリジナル商品はご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで 初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

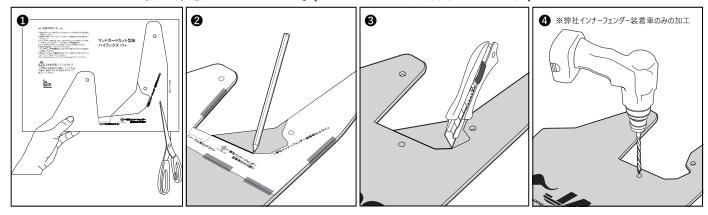
fl 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。 〔保証について〕 www.jaos.co.jp/support/policy ▶



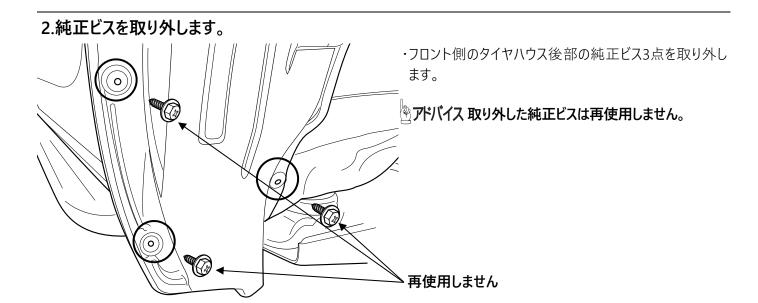
取付要領(説明は運転席側になります。助手席側も同様の作業を行います。)

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー、●数字は作業の順番を示しています。

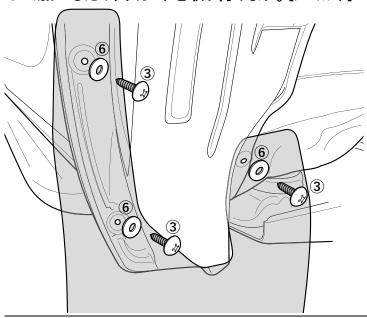
1.マッドガードを型紙の形状にカットします。(インナーフェンダー装着車用の加工例)



- ・型紙②の実線をハサミでカットしていきます。(1)
- ◎弊社インナーフェンダー無装着車(以下ノーマル車)は型紙の「ノーマル車カットライン」をカットします。
- ◎弊社インナーフェンダー装着車は「弊社インナーフェンダー装着車カットライン」をカットします。 併せて「ドリル径8.0mm」の部分をカッターなどでくり抜きます。
- ・切り取った型紙②をマッドガード本体①の縁に合わせテープで固定します。
- ②アドバイス 型紙は裏返して反対側のマッドガードの穴開け加工にも使用しますので破けない様、取り扱いしてください。
- ・マッドガード本体①へ各カットラインやドリル穴に沿って鉛筆等で線を罫書きます。(2)
- アドバイス 弊社インナーフェンダー装着車とノーマル車で破線のカットラインが異なるため注意してください。
- ・罫書いた線に合わせ、カッターやハサミなどでマッドガード本体①をカットします。(3)
- ・【弊社インナーフェンダー装着車のみの加工】ビスを通す穴を木工ドリル(8.0mm)を使用して開けます。(4)



3-1.加工したマッドガードを取り付けます。【ノーマル車】



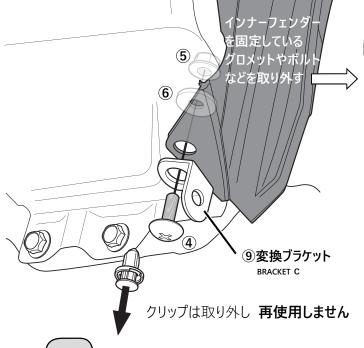
・純正ビス3点を取り外したビスの箇所にマッドガードの穴 位置を合わせ取り付けます。

タッピングスクリュー③,ワッシャー⑥を使用し固定します。

【推奨締め付けトルク3~4N·m】

→P8.「4.ベルト吊りブラケットを取り付けます。」に進みます。

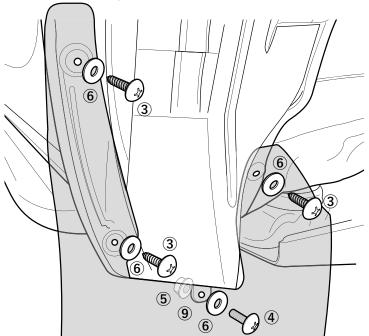
3-2.加工したマッドガードを取り付けます。【弊社インナーフェンダー装着車】



・弊社インナーフェンダーを一旦取り外します。

アドバイス 下部取り付け点のクリップは再使用しません。

- ・下部取り付け点に変換ブラケット⑨を取り付けます。 トラスボルト④,フランジ付ナット⑤,ワッシャー⑥を使い固定 します。 【推奨締め付けトルク 4~5N・m】
- ・取り外したグロメットやボルト類を使い、インナーフェンダーを取り付けます。



・純正ビス3点を取り外したビスの箇所にマッドガードの穴位置を合わせ取り付けます。

タッピングスクリュー③、ワッシャー⑥を使用し固定します。

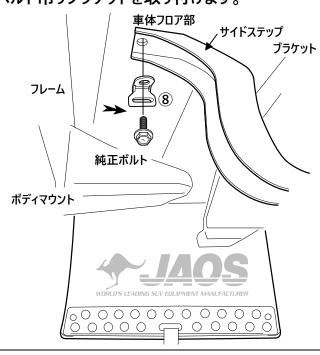
【推奨締め付けトルク3~4N·m】

・変換ブラケット⑨の取り付け穴と、マッドガード本体①に開けたドリル穴を合わせ取り付けます。

マッドガード本体①側よりトラスボルト④,ワッシャー⑥で、変換ブラケット⑨側からナット⑤を使い固定します。

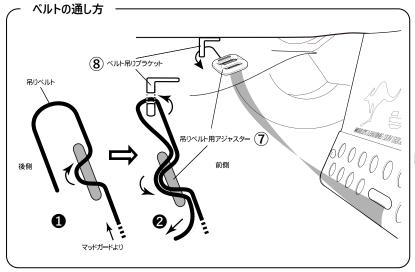
【推奨締め付けトルク4~5N·m】

4.ベルト吊りブラケットを取り付けます。

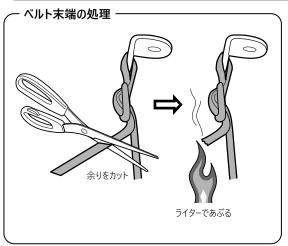


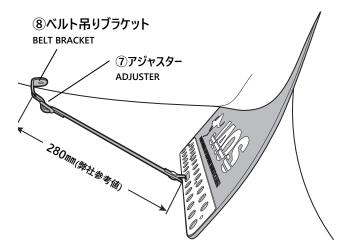
- ・ベルト吊りブラケット®は車体フロアにサイドステップのブラケットが取り付けてある内側部分を利用し取り付けます。 ブラケットの純正ボルトを取り外し、ベルト吊りブラケット®を重ねて純正ボルトで共締めします。
- ②アドバイス ベルト吊りブラケットの向きは、ボルトの固定ポイントが後ろの来るよう、取り付けます。

5.ベルトを取り付けます。



- ・マッドガードのベルトをベルト吊りブラケット®へ取り付けます。(図「ベルトの通し方」参照)
- ・マッドガード本体に取り付けてあるベルトをアジャスター⑦を使い、ベルト吊りブラケット®へ取り付けます。
- アドバイス ベルトの長さは任意ですが、弊社の 参考値はリヤ280mmとしています。





・調整した後の余ったベルトはハサミでカットし、端点をライターなどであぶり、ベルトがほつれない様処理をします。 (図「ベルト末端の処理」参照)

装着状態の確認



注意 装着後には必ず取付確認を行ってください。

ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。

- ・全体の組付けが完了したらマッドガードを揺さぶり、異音がしないかを確認してください。
- ・各ボルトの締め付け部をもう一度締め付け、増し締めされているかを確認してください。

使用上の注意事項



注意 点検整備を行ってください。

- ・長距離走行後や月に1度は各締め付け部の緩みや破損部分が無い等を点検していただき、必要に応じて増し締めを行ってください。
- ・万一不具合が生じている場合は、そのままでの使用は避けてお買い求めの販売店又は弊社へご相談ください。



、注意 薬品などの付着に注意してください。

・油脂類(ブレーキオイル、エンジンオイル、グリース、ガソリン、軽油)、有機溶剤などの薬品(塗装用シンナー・バッテリー液など) を付着させると、変色・シミの原因となりますので絶対に避けてください。

万一付着した時は、すみやかに中性洗剤の水溶液を用いて柔らかい布又は、セーム皮などで拭き取りよく洗い流してください。



注意 走行時は以下の点に注意してください。

・マッドガードを装着した場合、路面とのクリアランスが狭くなり、後退時に縁石に接触するなど段差に干渉し易くなります。 また、積雪時にラッセルしたまま走行したり、凍結(着氷)状態で使用した場合、車両やマッドガード及びその関連部品が破損する恐れがあります。

> 第4版 2022年11月17日 初版 2018年2月20日